

公立鳥取環境大学

学生EMS委員会について

公立鳥取環境大学学生EMS委員会は、大学の環境マネジメントシステム(ISO14001:2015)の運用の一翼を担い、学友会内の環境管理活動のとりまとめを目的として設立された組織です！
環境学部を中心に、経営学部からも学生が集まっており、現在54名で明るく楽しく、そしてひたむきに活動しています！



学内外での清掃活動

学内



PDCAサイクルに則って清掃活動を行っています。
委員と一般参加者が協力して大学の周辺環境を綺麗にしています。
今後、より効果的な学内環境の維持を図るため、新たな仕組みを検討しています。

学外



鳥取砂丘などの清掃にも取り組んでいます。今年11月には、日本一大きい池、湖山池に浮かぶ青島で、スタンプラリー形式で自然を観察しながらの清掃活動を行いました。当日は、ごみ分別の〇×クイズなども行い、参加者が普段の生活を見直すきっかけになりました。

TUES Sustainability Week

TUES Sustainability Weekは、脱炭素を起点に地域・大学の持続可能性について考えるイベントです。

このイベントは今年3年目を迎え、新しく土曜日に「防災」×「食とエネルギー」をテーマとして、『未来ノオト』を開催しました。

当日は、シャワーカーなどの特殊車両の展示やクイズ大会、企業の体験ブースを企画し、参加者に楽しみながら防災を学べる場にすることができました！



学祭での取り組み

学祭ではごみの分別を行いました。
来場者のごみだけでなく、学生や一般の売店から出るごみも対象とし、適切な回収・分別を行うことで環境負荷の軽減に取り組みました。
また、「ハロパック」は表面のフィルムをはがすとリサイクルできるので、一つずつはがしてもらおうと呼びかけを行いました。



ハロパックについて

私たちは、包装資材部のコパックスと環境配慮型容器「ハロパック」のデザインを共同開発しました。
ハロパックは使用後にフィルムを剥がすと紙部分を古紙としてリサイクルできます。今回のデザインは「鳥取砂丘」と「スーパーマーケット」の2種類で、内側に関連の探しを印刷し、楽しみながら環境への関心を高められるよう工夫しました。外側のQRコードから答え合わせもできます。



ウォーターサーバー

気候変動適応策とペットボトルの使用量削減を目的として、2024年7月から学内2か所にウォーターサーバーを設置しています。2024年度は約22,000本分の500mlペットボトルを削減しました！



学生の取り組み

TUES地球環境を考える会 びおとぶ



本学サステナビリティ研究所のビोटープ(野生生物が共生できる空間)を活用し、環境保全団体としてビोटープの整備・保全を進めるとともに、小学校への訪問授業や観察会を企画し、生物多様性の大切さを伝える環境教育を行っています。今後も、更なるビोटープの作成や保全活動の継続・定量化、普及啓発といった活動に取り組んでいきます。

防災サークルmu-TUES



「防災と言わない防災」つまり、従来の堅苦しく敬遠されがちな「防災」から身近で当たり前の「防災」へと意識改革を促すことをモットーに、アクティビティを通して幅広い世代の人に気軽に楽しく防災について学んでもらえるような活動を行っています。地域の方々からお声がけをいただきながら様々なイベントに参加し、防災の大切さを広めています。また「0次の備え」という考えから、持ち運びやすく防災を常に意識できる防災グッズ「防災ポーチ」づくりを行っています。

生物部



啓発活動、保全活動、野外活動に力を入れています。啓発活動では、地域の方々や子供たちに、鳥取に生息する生き物の現状をクイズやミニゲームで楽しみながら学べる工夫を施しています。保全活動では、ウスイロヒヨウモンモドキの保全やオオキンケイギクの駆除活動に積極的に参加しています。野外調査では、学内、大学周辺を中心に生息する動植物の種類や現状について調査しています。また、本学のキャンパスを30by30の自然共生サイトへ登録しようと活動したり、本学の他サークルと連携して生物多様性の維持、向上に関する取り組みも行っています。